

- ## I. 回答者について

()

1. 医師 2. 看護師 3. 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士 4. その他の職種

2. ない

7. その他（具体的に：_____）

11. 行っていない

※ 自己チェック票～ケアラー本人が、家族のケアをしている自分の体調や気持ち、考え方を、ケアマネジャーなどの相談職員に伝えるためのチェック票（家族介護者支援マニュアル（厚生労働省：平成 30 年3月））

- 問6 問5でお答えいただいた直接的な支援以外で、ケアラー支援として、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全てに○を付け、その具体的な内容を下欄に記載してください。）。
1. ケアラー支援に関する理解の促進
 2. 支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援
 3. 関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備
 4. ケアと仕事などの両立支援
 5. その他（具体的に： _____）

Ⅲ. 支援に繋がっていない事例への対応について

- 問7 令和4年度において、貴院が受けた相談の中で、ケアを必要としている人が、医療や介護、障害福祉等の公的サービスの利用に至らなかった事例はありますか（あてはまるもの1つに○を付けてください。）。

1. ある
2. ない

- 問8 問7で「ある」と回答した医療機関に伺います。 相談を受けた結果、公的サービスの利用に至らなかった理由は何だと思いますか（あてはまるもの全てに○を付けてください）。

(1) ケアを必要としている方側の理由

1. 家族によるケアを望んでいる
2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている
3. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている
4. 公的サービスの内容を理解していない
5. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある
6. その他（具体的に： _____）

(2) ケアをしている方側の理由

1. 家族で支えられると考えている
2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている
3. 本人が家族のケアを望んでいる
4. 家庭内の問題を他人（行政）へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている
5. 公的サービスの内容を理解していない
6. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある
7. 地域のサービス提供体制が不十分
8. その他（具体的に： _____）

- 問9 支援に繋がりにくい家庭を支援に結びつけるために、地域や社会において、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全てに○を付けてください）。

1. ケアラー支援に対する社会的認知度の向上
2. 地域包括支援センター・障害者相談支援事業所等の職員へのケアラー支援に関する理解の促進
3. 関係機関（行政や地域包括支援センター等）と連携した支援ニーズの把握
4. 支援関係者のネットワーク構築
5. 民生委員・児童委員や自治会、ボランティア団体等の身近な支援者からの情報取得
6. 電話連絡や家庭訪問の実施
7. 本人や家族に対し、支援が必要なことを理解してもらう
8. その他（具体的に： _____）

- 問10 ケアラー支援を充実させるために必要だと思うことがあれば記載してください。